

令和３年度第２回半田市スポーツ推進審議会議事要旨

開催日時	令和３年１２月２１日（火）	１５時 ～ １６時１５分
開催場所	市役所３階 会議室３０５	
会議次第	１．開会 ２．中学校部活動の地域移行について 資料１ ３．with コロナ、after コロナでのスポーツ推進について 資料２ ４．閉会	
出席委員 (欠席委員) ※敬称略	【会長】加藤博吏 【副会長】田中益生 【委員】池田智美、渡邊彩、近藤和昭、岩田洋子、磯貝雅代、 水野明英、清水純一、田村悦子、（日置さと子）、 （吉戸孝司）	
事務局	健康子ども部長、スポーツ課長、スポーツ課主幹 スポーツ課振興担当主査、同事務員、学校教育課指導主事	
次 第	議事概要	
【議題】（１） 中学校部活動 の地域移行につ いて	（事務局） <u>中学校部活動の地域移行について、資料１（中学校部活動の地 域移行に関する課題・意見等について）</u> にもとづいて説明 事前に委員からいただいた意見や課題をカテゴリごとに分けた内容を 掻い摘んで紹介。 ・指導者に関すること 指導者の確保や次世代指導者の育成、指導者が異なることによる方 針相違等。 ・大会に関すること 引率者は誰になるのか等。 ・関係者への理解 学校顧問、生徒、保護者、地域指導者への理解が必要等。	

・費用に関すること

指導者への謝金をどのようにしていくのか。

・組織編成のこと

取りまとめはどこがやるのか、関係団体との連携、特別委員会等話し合う組織の設置等。

・施策に関すること

実施できる種目から、モデル地区を作る・参考にする等。

・地域移行の受け皿について

スポーツクラブの体制強化や部活とスポーツクラブの役割明確化等。

・文化部について

文化部の検討をどのようにするのか。

・全体的なこと

軌道に乗るまで試行期間とし、急ぐ必要はないのではないかと。怪我した時の責任の所在を明確化する必要がある等。

本日の会議を踏まえ、第3回の審議会に向けてスポーツ推進審議会としての課題整理の結果を集約したいと考えております。

(加藤会長)

委員の皆さんより、多数の意見をいただきました。また、この場でも意見いただければと思います。

(池田委員)

中学校部活動移行の発端は、教員の働き方改革だと認識しています。これについて、スポーツクラブ側からしてみれば介入できない部分かと思います。土日の部活動については20年以上前より、学校週5日制対応事業として、市内5地区にスポーツクラブを設置し、各地区の実情を踏まえて、すでに実施済であるのではないかと思います。

(岩田委員)

過去の半田市における先進的なスポーツクラブの設置について、成功かどうかの判断は難しいと思います。現在の実情としては各スポーツクラブで格差が発生しているのも事実です。この部活動移行をきっかけに、スポ

ーツクラブの活性化や指導者発掘にも繋がるような機会としても活用できるのではないかと考えています。

(磯貝委員)

例えば、平日は学校の部活動で、休日はスポーツクラブで活動するというようなスタイルを確立している方もいれば、部活のみで頑張っている方もいると思います。部活のみで頑張っている方にとっては、たくさん練習できる土日の学校部活動をあてにしていると思います。今後の地域移行では、土日の部活動になるとどうしてもスポーツクラブをあてにしますが、そういった方へのフォローも必要になるかと思います。こういった形が望ましいのか悩ましいところですね。

(渡邊委員)

昔、土日は部活で子ども達は家にいないことが多い状況でしたが、今では土日のどちらかが部活という状況です。そして今後、土日の部活がなくなるとなれば、スポーツクラブでの対応も可能性の一つだと思います。ただ、文化部もあるので、文化部に入りたい子どもたちも救ってあげる受け皿も必要であると思います。

(田村委員)

スポーツクラブによって土日の活動の仕方は違うと思います。部活動と同じように行うチームもあれば、部活動と切り離してスポーツを行うチームもあります。どのように地域移行していくか検討していく必要がありますが、部活動が地域に移行するということを保護者にどれだけ理解していただくかということが大きな課題のひとつだと思います。学校は部活をやらないという誤解を避けるため、地域で子ども達を育てていくという視点で考えていかないと、保護者との溝ができてしまわないか心配です。

(清水委員)

先生方への負担が大きく教育の質を下げない意味を含めての働き方改革だと思いますが、子どもや保護者の観点からの検討も必要になってくると思います。また、足並みを揃えながら、急ぐ必要もないのではないかと考えています。子どもの未来も考えていかなければならないと思います。

(水野委員)

部活に対する考え方も時代とともに変わってきていると思います。部活に専念したい子もいれば、部活をやりながら、他のこともやってみたいという子等様々です。保護者等への理解についても、うまく周知していかなければならないと思いますし、種目によっても指導者の質が変わってくると思います。ただ、実際にやってみて解決していくしかない部分もありますし、スタートするにあたりイメージ図みたいなものがあるとよいかなと思います。

(田中副会長)

土日をいかに子ども達のために使うかが課題だと思っています。学校ベースの改革として部活動の置き換えを考えていくのか、地域での活動に移すのか、多方面の意見や課題をまとめて、移行計画のたたき台を作るプロジェクトチームが必要なのではないかなと思います。昔、スポーツ推進委員のイベントとして、土曜日に子どもが集う受け皿を作る目的で企画を行ったのですが、子ども達はあまり集まってこなかったという事例がありました。

(近藤委員)

まず、保護者と学校とよく話をしてもらうことが大切なのではないかなと思います。令和5年度から段階的ではあるものの、部活の地域移行が始まるということを理解していただくことが重要であると思います。最近では、土日に部活動以外の活動をしている子ども達が増えています。そういった中でスポーツクラブとしても受け皿として、どういう方向性に持っていくかということも検討できると思います。

(加藤会長)

会費の問題もあると思います。今までは学校での部活動があり、ありがたいことに無償で先生の指導を受けられました。しかし、今後の地域部活動移行に関連して経費が発生することになれば、スイミングスクール等と同じような受益者負担という考え方の浸透も重要になってきます。

(渡邊委員)

20年前と比べて、今は会費への理解は進んできているように感じま

す。むしろ、「部活動が地域に移行するということを唐突に言われることに不安を感じる」という声を保護者から聞きます。保護者の中でもこの部活動移行について知っている方はごくわずかだと思います。もっと前もって、「今後の学校部活動はこうなります」等アナウンスしてもらわないと十分な理解を得られないと思います。「こうになりました」では遅いので、少しずつでも周知が必要だと思います。

（学校教育課指導主事）

多方面からのご意見ありがとうございます。教育委員会としては令和5年度からの部活動移行について、一気に進めるよりは時間をかけて課題を解決しながら進めていく必要があると考えています。ただ、先延ばしにしたとしても解決に至らないので、計画性をもって進めることが重要だと思っています。部活動ガイドラインをどうしていくのか、大会のあり方、他市町との足並みが揃わない等の課題もあると認識しています。現場で働く教員の意見や考えを聞いていかなければならないと思いますし、保護者や生徒への説明もスケジュールを逆算しながら進めていくことが必要だと認識しています。

（スポーツ課長）

半田市における過去の経験を踏まえて、持続可能な計画目標（SDGs）に沿った考え方で進めていく必要があると認識しています。会費に関する課題もあると思いますし、その中でも受益者負担という考え方をいかに浸透させるか。または、費用的な面を含めて国や県の動向を注視しながら、モデルケースを参考にする等情報を収集していく必要性があると認識しています。これまでいただいた意見に肉付けをした形で次回までに集約したいと考えています。スポーツ推進審議会としてまとめたものを作成し、市か教育委員会へ提出することも想定しています。

（田村委員）

やはり、指導者の確保は重要だと思います。人材バンクのような機能等、指導できる人をどんどん増やしていく環境が必要だと思います。

(水野委員)

保護者等と共有するため、説明用のパンフレットやフローチャート等イメージで分かるようなものがあるとよいと思います。

(田中副会長)

部活動は学校教育のカリキュラムのひとつであって、学校が関わるべき人材育成の一環と考えるのか、子ども達が立派に育ってくればいいので、学校としては関わらず、社会や地域が受け皿となり人材育成となればよいのか、どんな動きになるのでしょうか。

(田村委員)

だんだんと考え方が変わってきています。部活動は学校だけで完結するケースがほとんどですが、地域で行うことによって、子ども達が大人になったときに地域へ貢献していくという流れができるのではないかと思います。そういった子ども達を育てていき、代が変わっても後世に伝えていく必要性もあるのではないかと思います。やはり、学校だけで抱え込むというのは限界があるのではないかとともに思いますし、今の時代に対応できるやり方の検討が必要だと感じます。

(田中副会長)

部活動は学校教育として、カリキュラムの一環だけで考えるのではなく、学校から手が離れてしまうことも想定されますね。

(田村委員)

広い目で見てみると、部活動を切り離す選択肢もあるのではないかと思います。

(池田委員)

今後の動向にもよりますが、学校部活動を切り離す視点でいうと、小学校で行うクラブ活動みたいなイメージになるのでしょうか。子ども達が活動を選択できる環境があるということはたいへん重要だと思っています。また、足並みを揃える必要もあるかと思いますが、各スポーツクラブが協力することで指導種目を補う等、相乗効果も得られるのではないのでしょうか。大会のあり方についても、今後大きな問題になってくると思います。地

	域でも参加できるような環境が必要になってくるものと思います。 (田村委員) 大会については、学校部活動として参加しています。ただ、外部指導者がいる場合、その外部指導者が監督を担う等の手続きを行っています。 (学校教育課指導主事) 国としては、休日の大会参加について、平日に活動している部活動のメンバーのみで参加する場合で校長が認めるときは、地域部活動に参加する生徒が学校代表として認められるというようなアナウンスをしています。 (加藤会長) 多数の貴重なご意見ありがとうございます。また、皆さんには地域や団体に持ち帰っていただいて共有していただければと思います。
【議題】(2) with コロナ、 after コロナでの スポーツ推進に ついて	(事務局) <u>半田市のスポーツ施策について、スポーツ課の事務分掌を中心に、</u> <u>資料 2 (with コロナ、after コロナでのスポーツ推進について) にもとづいて、説明</u> ・令和3年10月の一か月間オンラインのスポーツイベント「オクトーバーラン&ウォーク2021」に参加したこと。 ・スマートフォンやスマートウォッチ上でアプリを起動し、コロナ禍の中、集団で密集することなく、自分のペースで密を避け実施することができ、好きな時間にゲーム感覚でスポーツに触れることができること。 ・オンラインイベントで、参加賞など魅力のある大会は今後も継続的に行われる可能性があること。 ・半田市として今後も with コロナ、after コロナを見据え、スポーツの多様性、選択肢を増やすという意味も含めて、スポーツイベントの可能性を追求していくこと。 (加藤会長) 最近ではD X (デジタルトランスフォーメーション) のようなデジタルを

	活用し、よりよい生活を追求していく等、新しい考え方が生まれています。全体を通して何か質問や意見はありますか。 （健康子ども部長） 地域部活動の話題になりますが、第 1 回の資料を見ると、部活動というものは残っていて、教員の働き方改革に伴い休日に行う部活動の段階的移行という形になってきています。将来的な方向性としては欧州型スポーツクラブのような形態も含め、中学生世代がスポーツを行う場をどのようにしていくかという議論になってくると思います。現段階では、部活動は学校教育活動の一環でありつつも、土日の部活動に教員が関われないから段階的にどのようにしていくか、議論の途中の段階だと見ています。それでもスタートしていかなければならないという状況で、今後しっかりと議論していきたいと思っています。
【閉会】	（加藤会長） 本日も貴重なご意見ありがとうございました。次回の第 3 回スポーツ推進審議会はいつ頃開催予定ですか。 （事務局） 次回は 2 月頃に開催します。別途開催の案内をしますので、よろしくお願いいたします。第 3 回の資料につきましても本日のご意見をまとめさせていただき、新しい情報等ありましたら、提供させていただきます。本日はありがとうございました。
	16 : 15（終了）